日刊 動労千葉

87. 7. 17

No. 2604

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

財政基盤の確立目指し《カナメ商事、協販部、共同購入会》

闘う事業部運動の大成功を

臨時委員会で闘う方針確立へ（5）

第一波・第二波のストを貫徹し、不当な解雇攻撃を粉砕して「4・1」になだれこんだわれわれにとって財政基盤の確立をかちとることは急務の課題になってきており、夏季物販、カナメ商事、共同購入会運動の大成功が決定的に求められています。全組合員の協力でさらに発展させようではありませんか。

原則的闘いが生活を守る

承知のとおり事業部は、カナメ商事、協販部、そして、四月一日以降設立された房総勤労者共同購入会の三部門で構成され、それぞれ昼夜を問わず意気軒昂と闘いぬいています。

動労千葉は、いかなる超反動攻撃をかけられようとも労働組合として、労働者としての基本理念「闘いなくして我が身はない」を貫き闘ってきたのであり、今後も闘いぬかなければなりません。

この原則的闘いこそが今求められているのであり、何よりも全組合員、家族の生活を守る道なのです。

闘う原則が反動を粉砕する

現在、われわれをめぐる情況は決して平坦ではありません。否、むしろ闘っているが故に政府・権力、動労革マル一体となってあらゆる手練手管を使った組織破壊攻撃がかけられてきています。

しかし、闘う原則を守り続け闘っている限り、それは密集せる反動にとって強大な破壊力となって痛打を与えるのです。最近では、動労革マルと鉄労の「連合」を完全に破壊せしめたではありませんか。

このことは、闘う者のみがもつ勝利感とも言えるのです。

着実に事業部運動前進

一方、闘う労働運動にとって、いかなる情況になろうとも闘い続けるための重要な柱として「財政基盤」の確立があります。これは、なんとしても確立させなければならない壮大な事業なのです。

この重要な役割を動労千葉・事業部が担っているのです。発足して間もない事業部ですが、いかなる困難があろうとも克服して成功させなければなりません。

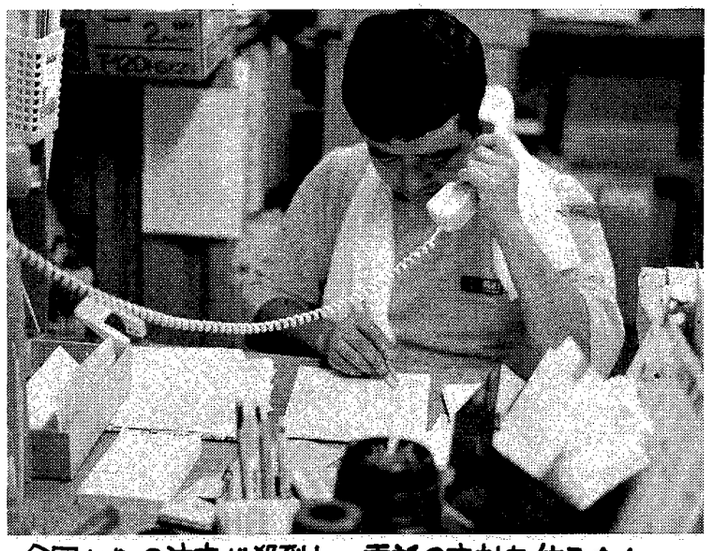
事業部を成功させる重要なポイントは「買わされる、協力させられる」のレベルを突破して、組合員一人ひとりが事業部構成の一員としての立場に起つことなのです。

現在、事業部では、カナメ商事が全支部に自動車保険を中心としてオルグに入っており、着実に加入が拡大されつつあります。

共同購入会運動も発足時からみると売上高は伸びつつあります。

また、協販部の「夏季物販」運動は、昨年の実績を踏まえ目標をかかげて進めていますが、全国からの支援・協力からみると県内、組織内が今一歩のところにあります。

ともあれ、事業部全体としては、牛歩きではありますが確実に前進しています。



全国からの注文が殺到し、電話の応対も休みなし
（写真は協販部）

闘う事業部運動の大成功を

全組合員のみなさん。

闘う事業部運動としての位置づけをさらに明確にして成功させようではありませんか。

苦しさ、汗まみれ、泥まみれになって事業部運動の成功を全組合員と家族の団結力でかちとろうではありませんか。

このことが必ずや敵の攻撃を粉砕する一方の闘いでもあるのです。いま必要なことは、壮大な闘いと勝利の展望に自信と確信をもつことです。そのために事業部は、全組合員の先頭に起ち、粉骨砕身奮闘していく決意です。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！